

(様式1)

データ関連人材育成プログラム
申請の概要

1. 申請取組

代表機関名 総括責任者名	株式会社フランジア・ジャパン 代表取締役 服部 裕輔
実施予定期間	平成 29 年度～平成 36 年度
実施予定所要 見込額	【所要見込額】 平成 29 年度：総額:85 百万円(うち自己負担額 45 百万円) 平成 30 年度：総額:140 百万円(うち自己負担額 70 百万円) 平成 31 年度：総額:140 百万円(うち自己負担額 70 百万円) 平成 32 年度：総額:140 百万円(うち自己負担額 70 百万円) 平成 33 年度：総額:140 百万円(うち自己負担額 70 百万円) 平成 34 年度：総額:88 百万円(自己負担額) 平成 35 年度：総額:88 百万円(自己負担額) 平成 36 年度：総額:88 百万円(自己負担額) 総 額：909 百万円(うち自己負担額 589 百万円)
目標・行動計画 の設定	【目標・行動計画】 AI、IoT、ビッグデータ、セキュリティ等を高度に駆使する人材(以下「高度データ関連人材」という。)の発掘・育成・活躍促進を通じて、データを利活用した未来社会の創造に貢献する。 (1) 産学官連携により、高度データ関連人材としてのポテンシャルを有する人材を数多く発掘する。(年間受講者数 70 名以上) (2) より実践的な研修プログラムを開発し、高度データ関連人材を効果的・効率的に育成する。(就職内定率 90%以上) (3) 様々な分野・業種の連携機関を募り、高度データ関連人材の活躍のフィールドを広げていく。(連携機関の分野・業種数 5 以上、法人数 30 以上) (本コンソーシアムは、国立大学法人 名古屋大学が参画機関として、代表機関と共に中心的な役割を担う予定です。上記目標・行動計画は、名古屋大学の第 3 期(平成 28 年度～平成 33 年度)の中期目標として掲げている「M6:国内外の産業界・行政・大学等との連携を通じて、世界有数の産業集積地にある基幹総合大学として社会的価値の創出に挑む。」、及びその行動計画「K15:～国内外の産学官連携・大学間連携を推進し、オープンイノベーションを実践する。～」と合致したものとなっています)

(代表機関名：株式会社フランジア・ジャパン)

取組の概要	<p>【事業実施体制イメージ】 株式会社フランチア・ジャパンを代表機関とし、名古屋大学及びその提携大学、大学発のAI・データサイエンス系ベンチャー数社が参画機関となりコンソーシアムを形成予定。各機関の主要メンバーから成る運営協議会を設置し、そこが主体となり事業を実施。</p> <p>様々な分野・業種の連携機関を募り(イメージは次項参照)、未来を担う高度データ関連人材を共に育成していく共同体として、広義のコンソーシアムを組成していく方針。(本事業の選定可否は問わず)</p> <p>【発掘に向けた主な取組】～受講者の母集団形成～</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 理工系人材が数多く在籍する大学・大学院のキャリアセンターと連携し、数学や統計学といったベーススキルを保有する学生を確保。 (2) 東京開講、名古屋開講、大阪開講に加え、その他のエリアの受講者向けのオンラインコースを用意し、全国から受講者を募集。一定数の社会人枠も設け、若手研究者、第二新卒といった層も募集。 (3) 受講者募集サイトから応募を募り、書類審査+面談という選考プロセスを経てプログラム受講者を確定。 <p>【育成に向けた主な取組】～研修プログラム概要～</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 名古屋大学の実世界データ循環学リーダー人材育成プログラムを中心に、代表機関、他の参画機関が保有するコンテンツ(データサイエンス系、エンジニアリング系、ビジネス系)をカスタマイズ。 (2) 分野・業種別のPBLプログラムを用意し、各分野での実務経験豊富な講師が指導を行うことで、約1.5ヶ月で、各連携機関がインターンシップ受入可能なレベルまで育成。 (3) 受講生のバックグラウンド及び志向性と、各連携機関のインターン募集要項のマッチングにより、インターン先を決定し、PBLプログラム修了後、2ヶ月程度のインターンシップを実施。(その後、長期インターンや正社員採用の可能性あり) (4) 前半のPBLプログラムの成績、後半の連携機関でのインターンシップ中の評価を加味してプログラムの修了判定を行い、修了者には修了証と求人応募の際の推薦状を授与。 <p>【活躍促進に向けた主な取組】～キャリア支援体制～</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 代表機関、参画機関の持つネットワークを活用し、大小問わず、様々な分野・業種の連携機関を募集し、未来を担う高度データ関連人材を共に育成していく共同体として、広義のコンソーシアムを形成。 (2) 高度データ利活用の学修及び競争のプラットフォームを構築し、連携機関を中心に様々なデータ解析コンペを開催し、連携機関の実務的な問題解決を通じた、受講者のキャリア開発を促進。 (3) 受講者には全員にメンターをつけ、プログラム期間を通じてのいつでもキャリア相談が可能な状況を作り、インターン先や就職先のマッチングを支援。
-------	---

コンソーシアム
参画機関

【代表機関・参画機関の紹介】

(1) 株式会社フランジア・ジャパン (<https://framgia.com/>)

アジア5カ国12拠点で、ソフトウェア開発事業や人材開発事業を展開。日本の大手企業からベンチャー企業まで先進的なサービスを展開する幅広いクライアントのサービス・プロダクト開発や人材育成・採用を支援。(グループ従業員数は約900名)

2012年からハノイ工科大学での高度IT人材育成事業にJICAの運営サポートという形で関与し、2014年以降は当該事業をJICAから引き継ぎ、同大学と二人三脚で運営を継続。昨年10月からは平成27年度補正予算日アセアン経済産業協力委員会(AMEICC)拠出金事業における大学寄付講座の事業実施者として選定され、ベトナム国家大学ハノイ校、ダナン工科大学においても高度IT人材育成を実施中。

WE MAKE IT AWESOME! というスローガンのもと、最高のサービスやビジネスを産み出せる“AWESOME!”な人財を、産学官連携で育成。本事業では、コンソーシアム全体の運営、プログラムの企画等を担当。

(2) 国立大学法人 名古屋大学 (<http://www.nagoya-u.ac.jp/>)

文部科学省が実施しているスーパーグローバル大学事業のトップ型指定校。現在6つの「博士課程教育リーディングプログラム」が採択され、進行中。中でも「実世界データ循環学リーダー人材育成プログラム」では、工学、情報科学、医学、経済学の分野に跨り、実世界データの「取得、解析、実装」の循環を生み出す人材の育成実績を持つ。また、学内に設置された「ビジネス人材育成センター」では、平成18年度から博士・ポスドクの方を中心とした若手研究者のキャリアパス支援を実施(1,700名以上の登録者、約680名の方のキャリア支援)上記実績を踏まえ、文部科学省科学技術人材育成費補助金「ポストドクター・キャリア開発事業(平成24~28年度)」にも採択され、他大学とも連携した取り組みを展開。

本事業では、コンテンツの企画・開発・提供、受講者の募集等を担当。

(3) 大学発のAI・データサイエンス系ベンチャー数社

現在、自動運転に関連する技術開発や人材育成を手掛ける株式会社ティアフォー及びそのグループ会社数社(株式会社マップフォー、株式会社センスフォー、その他)と、音響信号処理や深層学習を始めとした機械学習に強みを持つ株式会社Human Dataware Lab.、製造、ヘルスケア分野強いAIベンチャーの株式会社トライエッティング、最適化技術に強みを持つ合同会社オプティマインドが参画予定。

本事業では、受講生のトレーニング、メンタリング等を担当。

【連携機関のイメージ】

これから、連携して高度データ関連人材を発掘、育成、活躍促進していく国内外の大学や、製造、金融、ヘルスケア、流通、サービス等の様々な分野・業種の企業を幅広く募集。分野・業種毎の連携機関数は各連携機関の求める人材要件と受講者の属性(専門性やスキル)の分布を鑑みて調整。

未来を担う高度データ関連人材を共に育成していく共同体として、切磋琢磨しながら、一緒に各マーケットでの競争力を高めていける力強いパートナーの参加を希望。本コンソーシアムに関心ある機関にはできる限り訪問して詳細のご説明を行う予定。

2. 連絡先等

代表機関の 総括責任者	氏名	服部 裕輔 (はっとり ゆうすけ)			
	所属機関名	株式会社フランジア・ジャパン			
	役職名	代表取締役			
代表機関の 実施責任者	氏名	藤本 一成 (ふじもと かずなり)			
	役職名	執行役員			
代表機関全 体の事務連 絡担当者 (当該担当者に審査結果等 すべての連絡をいたします)	担当者名	田上 まり (たがみ まり)	役職名	マネージャー	
	所属組織・部署名	株式会社フランジア・ジャパン 経営管理部			
	事務 連絡先 (当該担当者に審査結果等 すべての連絡をいたします)	〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 3-6-1 イースト渋谷ビル 6階			
		TEL.03-6419-7633		FAX. 03-6869-9433	
		E-mail: d-jinzai@framgia.com			

(申請機関名：株式会社フランジア・ジャパン)

データ関連人材育成プログラム：循環型データ人材育成コンソーシアム概要

本コンソーシアムの特徴・強み

- 4研究科(工・情・経・医)にまたがり、企業と連携する博士課程リーディングプログラムによる教育コンテンツの蓄積
- 大学発のAI・データサイエンス系ベンチャーによる講習事業の実績
- 博士・PD人材キャリア支援部門(B-jin)やフランジアのキャリア支援・採用支援実績

期待される効果

- 製造データの解析等、地域企業の人材ニーズも高く、多くの企業の参加が見込まれる他、多くの学生・社会人の受講が期待できる。
- 演習自体が、学生と企業との交流の場になり、人・知・資金の循環が加速される(新たな技術市場の形成)。

データ科学実践教育



NAGOYA UNIVERSITY

- 講義コンテンツ
- データ解析ツール実習設計
- 教育施設・設備提供



JUN-KAN

名古屋大学 博士課程教育リーディングプログラム
実世界データ循環学
リーダー人材養成プログラム

博士・PD 人材キャリア支援

- インターンシップ支援
- キャリア相談
- 就職支援



ポストク・博士後期課程学生のためのキャリアパス支援

インターンシップ
就職・転職

様々な分野・業種の企業との連携

- ものづくり系
- 金融系
- ヘルスケア系
- 流通系
- サービス系
- その他VC、業界団体

カスタマイズされた演習

- PBLトレーナー
- メンター



大学発の AI・データサイエンス系
ベンチャー

採用支援

- 企業の人材ニーズの吸い上げ
- 学修&競争プラットフォーム構築
- マッチングシステムの構築



人材ニーズ
課題データ

応募
研修参加



博士学生



PD



外国人学生



社会人

未来を担う高度データ関連人材を
共に育成していく共同体として、
我が国の競争力強化に向けた
大きな流れを創り出す！